

天然ガス資源開発

原料の安定調達に加え、調達価格の低減により適正なアジア市場価格の実現を図るため、在来型・大型プロジェクトにとどまらず、非在来型天然ガスをはじめとする多様な上流権益への参画を積極的に進めています。

海外中下流事業

原料の柔軟な調達や適正なアジア市場価格の実現を図るため、天然ガスをコアとした発電事業等への参画や、東京ガスが有するノウハウを活かし、エネルギーサービス事業等を進めています。

LNGバリューチェーンでの事業展開

LNGの調達から輸送、都市ガスの製造、供給、エネルギーソリューションの提供に至るすべての事業活動を連関させ、バリューの最大化を目指すLNGバリューチェーンでの事業展開を行っています。

▶ 主要海外上流事業の概要

プロジェクト名	年間契約量(千トン)	生産開始年	LNG購入契約期間	契約形態	参加比率(%)
① ダーウィン	1,000	2006	17年間(～2022)	FOB	3.07
② プルート	1,500-1,750	2012	15年間	Ex-Ship, FOB	5.0
③ ゴーゴン	1,100	(2014)	25年間	FOB	1.0
④ クイーンズランド・カーティス	1,200	(2014)	20年間	Ex-Ship	1.25 (Upstream) 2.5 (Midstream)
⑤ イクシス	1,050	(2016)	15年間	FOB	1.575
⑥ コルドバ	—	生産中	—	—	3.75
⑦ バーネット	—	生産中	—	—	25.0

ダーウィンLNGプロジェクト



ベルギー T-Power

天然ガス発電事業
(出資比率26.66%) 発電能力42.5万kw



マレーシア ガスマレーシア

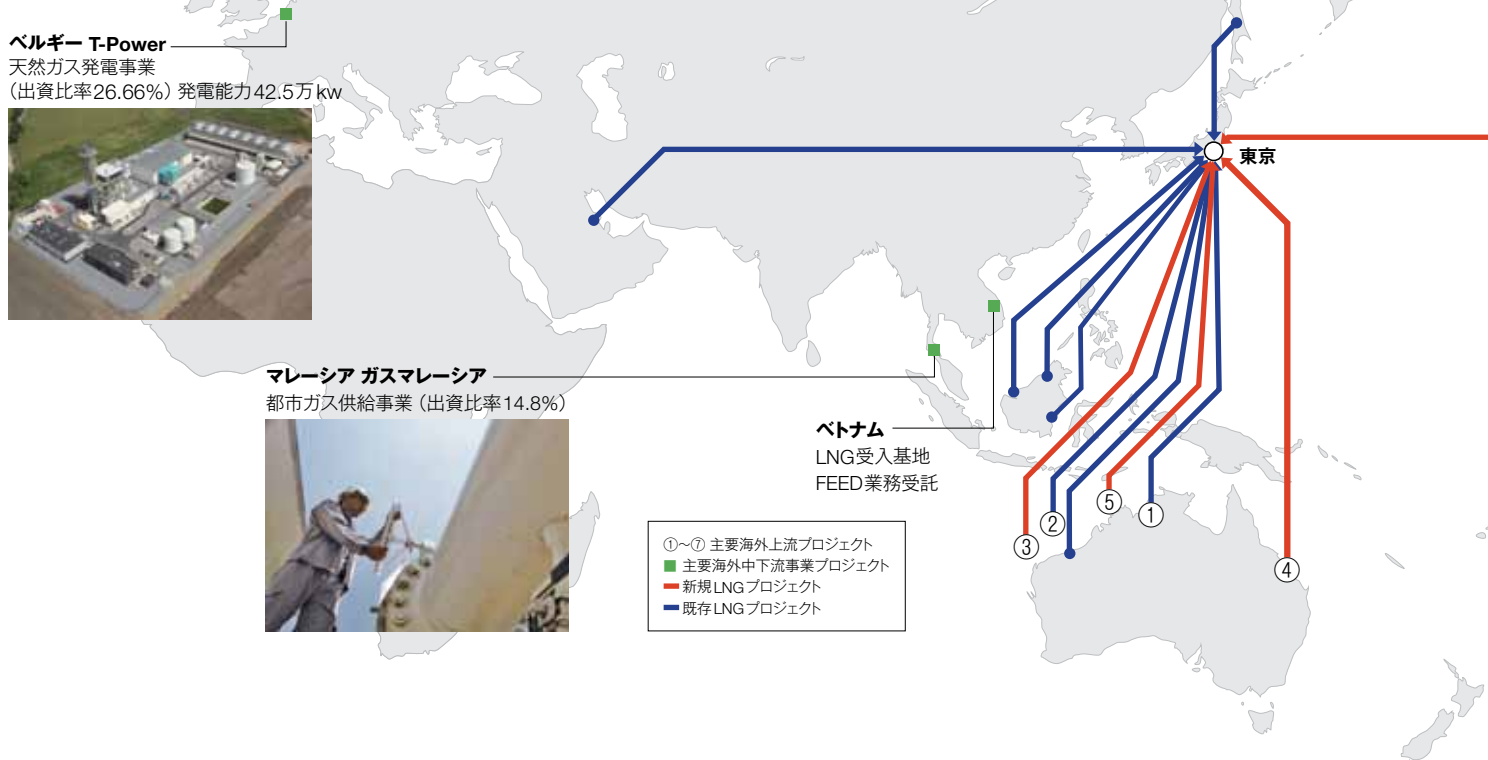
都市ガス供給事業(出資比率14.8%)



ベトナム

LNG受入基地
FEED業務受託

- ①～⑦ 主要海外上流プロジェクト
- 主要海外中下流事業プロジェクト
- 新規LNGプロジェクト
- 既存LNGプロジェクト



調達・輸送

政情の安定している供給源を中心に、6ヶ国11プロジェクトからLNG長期契約に基づいて、年間1,200万トンを超えるLNGを輸入しています。

また、8隻の自社フリートを他社向け輸送を含めて効率的に活用し、輸送コストの低減に努めています。

▶ 東京ガスグループの国別LNG調達実績

千トン				3月期
国名	2011	2012	2013	構成比
マレーシア	4,479	4,479	4,409	(34.7%)
オーストラリア	2,297	2,264	3,379	(26.6%)
ブルネイ	1,155	1,362	1,439	(11.3%)
インドネシア	843	1,011	835	(6.5%)
ロシア	1,605	1,678	1,682	(13.2%)
カタール	358	290	235	(1.9%)
アラスカ	139	—	—	—
その他	440	826	734	(5.8%)
合計	11,315	11,910	12,712	(100.0%)

東京ガスの自社管理輸送船



メキシコ MTファルコン

天然ガス発電事業
(出資比率30%) 発電能力223万kw



メキシコ バヒオ

天然ガス発電事業
(出資比率49%) 発電能力60万kw



ブラジル エコジェン

エネルギーサービス事業
(出資比率10%)



ブラジル マーリャ

天然ガスパイプライン事業
(出資比率15%)



製造・発電

首都圏の3工場による世界最大級のLNG貯蔵・製造設備の継続的な増強により、拡大する都市ガス需要に合わせた製造体制を実現するとともに、最新鋭の高効率発電設備による環境負荷の少ない電力事業を展開しています。2020年までに現状の200万kW体制から300万～500万kWにまで発電能力を高めていきます。

供給

首都圏を中心とする総延長6万298km（連結）の導管網を整備し、都市ガスの安定供給を行っています。今後も、需要地へのパイプラインを拡充しつつ、地震防災対策を進め、災害に強い供給体制を目指していきます。

▶ 発電事業



① 東京ガス横須賀パワー

発電能力	24万kW×1基	24万kW
発電方式	コンバインドサイクル発電方式	
運転開始	2006年	
出資比率	75%	



② 東京ガスベイパワー

発電能力	10万kW×1基	10万kW
発電方式	コンバインドサイクル発電方式	
運転開始	2003年	
出資比率	100%	



③ 扇島パワー

発電能力	40.7万kW×3基	122万kW*
発電方式	コンバインドサイクル発電方式	
運転開始	2010年より順次運転開始	
出資比率	75%	



④ 川崎天然ガス発電

発電能力	42万kW×2基	84万kW
発電方式	コンバインドサイクル発電方式	
運転開始	2008年	
出資比率	49%	

* 3号機は2016年3月期運転開始予定

▶ 供給体制



① 袖ヶ浦工場

2013年3月期	
受入実績	494.2万トン/年
貯蔵能力	161万kl
気化能力	1,310トン/h



② 扇島工場

2013年3月期	
受入実績	399.1万トン/年
貯蔵能力	60万kl
気化能力	1,115トン/h



③ 根岸工場

2013年3月期	
受入実績	305.8万トン/年
貯蔵能力	115.5万kl
気化能力	460トン/h

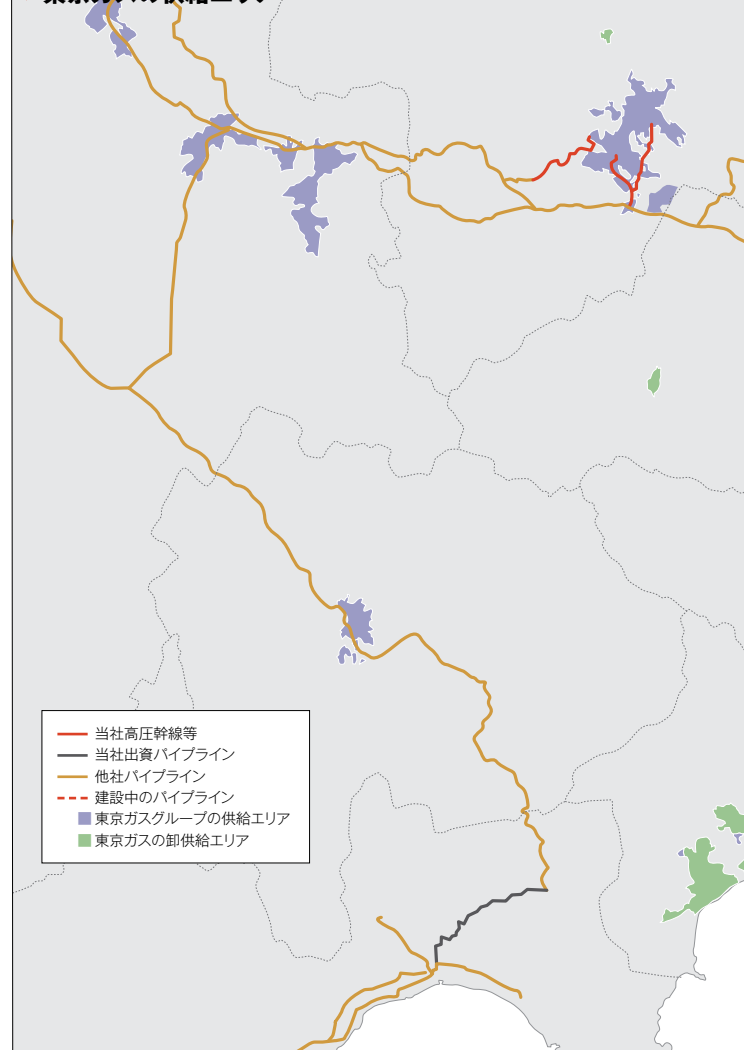


④ 日立LNG基地

2016年3月期	稼働開始予定
貯蔵能力	23万kl
気化能力	—

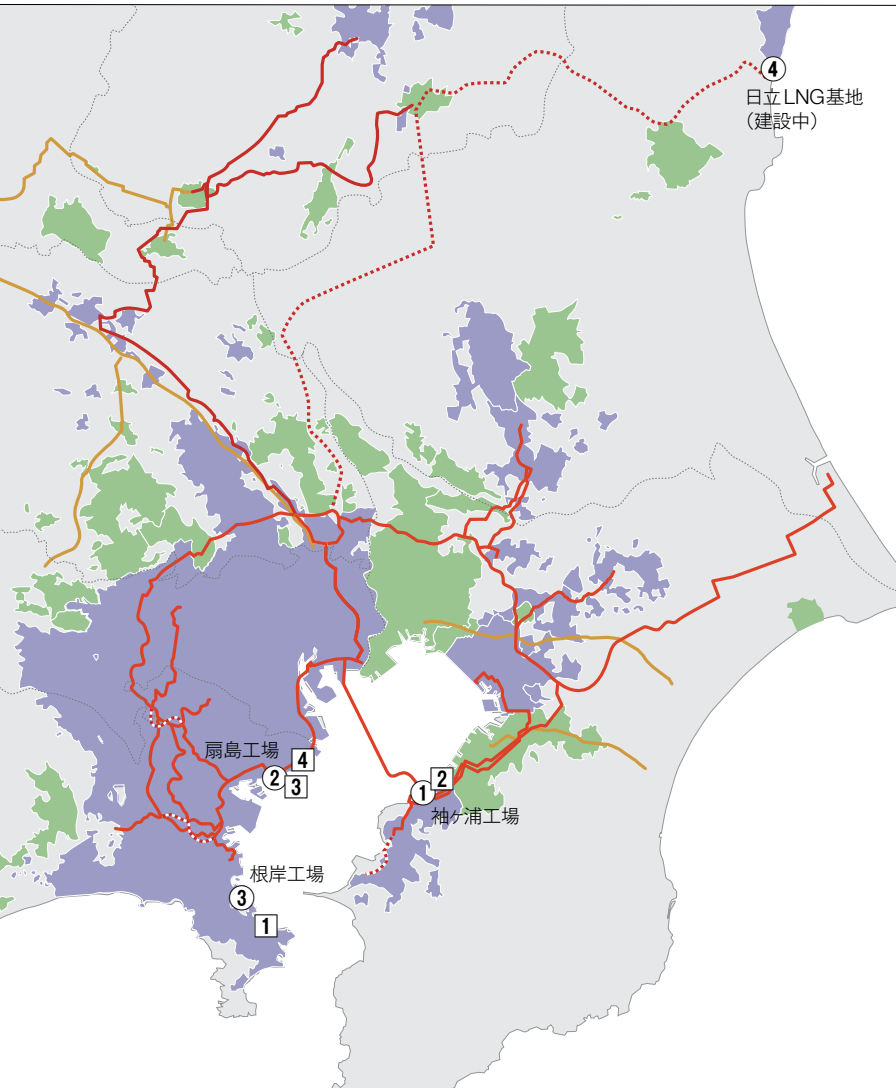
完成予想図

▶ 東京ガスの供給エリア



ガス販売・サービス

家庭用分野では地域密着営業体制「東京ガスライフバル」が中心となって、ガスの価値提案を行うとともに、家庭用燃料電池「エネファーム」の普及に努め、**電気の提供**も始めています。業務用、工業用分野においては、コージェネレーション、空調システムの導入や、エネルギーの提供及びCO₂の削減に貢献しています。



▶ ガス販売量



LNGローリー車



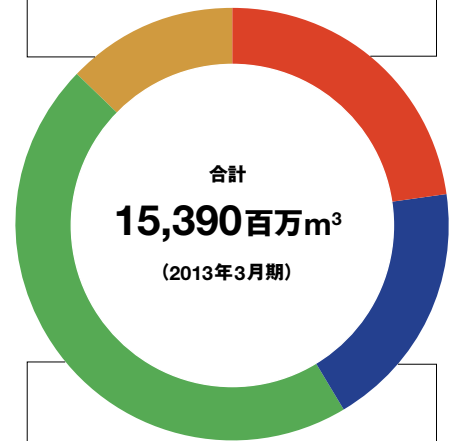
家庭用燃料電池「エネファーム」

他事業者向け

1,953百万m³ 13%

家庭用

3,535百万m³ 23%



工業用

7,055百万m³ 46%

リジェネレイティブ
バーナシステム



業務用

2,847百万m³ 18%

コージェネレーションシステム

